

ペンカラーが光る町

新春に当たって

小浜西組町並み協議会 会長
澤 口 輝 禪

新しい年を迎えて、小浜西組の皆様をはじめ、関係者の方々におかれましては、心新たにお過ごしのことと慶賀に存じあげます。本年も小浜西組町並み協議会に対しまして、ご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年は、舞鶴若狭自動車道の完成を受けて、若狭地方が何かと注目された年でありました。福井県北部や岐阜、名古屋方面からの車の便が良くなり、小浜に来られる方が増加しているようでうれしいことです。

一昨年策定された「小浜市観光まちづくり計画」も今年からはいよいよ工事が始まる段階になりました。小浜西組に関しましても、これから5年間にわたってさまざまな街路整備事業が行われる予定です。その主なものは、まず、茶屋町である三丁町の整備です。道路の舗装や側溝の整備をはじめ、電線の地中化、融雪装置の設置など、大掛かりな整備がおこなわれます。また旧丹後街道については、舗装、側溝の整備、電線的美装等が行われます。その他、防火施設の充実、町歩き休憩所の設置など、いろいろな事業が予定されており、重伝建地区にふさわしい町並みの整備が期待されます。

工事にあたっては、市の担当部局による説明会が開かれますので、住民の方々は、是非、参加して十分に説明を聞き意見を言っていただきたいものです。工事期間中は、いろいろ生活上の不便が生ずることもありますが、是非、工事に協力して、ともどもに快適なまちづくりに頑張っていきたいものです。

また、伝統的な家屋の修理・修景につきましては、26年度は6棟の工事が行われ、27年度は4棟の工事が行われる予定です。施主となられる方には、大変ご苦勞が多いと思いますが、着実に工事を進めていただきたいと念願いたしております。

◆ 平成24年度、25年度の重伝建補助事業紹介 ◆

24年度は12件ありました。外観から確認できる3物件を紹介します。

平井家主屋（小浜白鳥）修理



屋根瓦葺き替え、外壁修理、木製建具修理、木部塗装

村田家板塀（小浜飛鳥）修景



コンクリートブロック塀撤去（基礎含む）板塀新設

松原家主屋（小浜飛鳥）修理



屋根瓦葺き替え、外壁張り替え、木製建具修理、木部塗装

25年度は9件ありました。外観から確認できる3物件を紹介します。

横山家主屋（小浜住吉）修理



屋根瓦葺き替え、外壁張り替え、木製建具修理、木部塗装、基礎補強

岡田家主屋（小浜鹿島）修理



屋根瓦葺き替え、外壁張り替え、木製建具復原、木部塗装、基礎補強

佐野家主屋（小浜浅間）修理



屋根瓦葺き替え、外壁一部解体修理、木製建具復原、木部塗装

小浜西組町並み協議会 26年度 第2回役員会報告

日 時：平成26年12月17日（水）19：30～21：00

場 所：小浜市鹿島 小浜町並み保存資料館

出席者：澤口、中島、大田、佐野、山田規、大島久、新谷、石野

（市役所） 館、野瀬、西島（以上敬称略）

開会宣言（中島副会長司会）

会長挨拶：

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。環境整備の方も道路を測量したり進んできております。協力よろしくお願ひします。

1 小浜市から報告、依頼事項

館課長挨拶：

日頃の活動、協力ありがとうございます。27年度の小浜西組町並み協議会活動補助金の予算が1万円減の17万円になりますので、よろしくお願ひします。

西島主査：

澤口会長から小浜小学校跡地について質問事項をいただいておりますのでその返答をさせていただきます。

質問1：後瀬山は平成9年に国指定の史跡となり、平成12年には「史跡後瀬山城跡保存管理計画書」が策定された。その後どのような事業が遂行されたか。今後どのような事業が計画されているか。

⇒平成14年～17年に遊歩道工事、平成23年に常高寺から墓所までの道を整備した。今年度中に敷地廻りに板塀の設置、花壇、史跡イメージ図看板、土塁等の一部を築造する計画である。

質問2：小浜小学校跡地が追加指定されるとのことだが、どの部分が指定範囲となるのか。

⇒小学校建物があつた部分からグラウンドの発掘調査で確認された堀跡と5m程の緩衝地帯までを史跡範囲とする予定である。

質問3：どのような遺跡、遺構が確認されているか。

⇒堀跡、磁石建物、掘立柱建物、石敷き状遺構、ゴミ穴などが確認されている。遺物では中国製の青磁、白磁、染付、国産の瀬戸美濃焼、越前焼、珠洲焼、信楽焼、素焼きの皿、鍋、金属製品の貨幣、飾り金具、武具、石製品の五輪塔、茶臼等が出土している。

質問4：史跡に追加指定された場合、遺跡、遺構の復元をするのか。

⇒史跡追加後は保存管理計画や整備計画を策定する予定であり、そのなかで復元方法やガイダンス機能、緑地の整備等の検討をしていきたい。

質問5：住民の声として単に復元だけでなく、災害時の避難施設、歴史資料館、三井家御殿の復元などの施設を望む声がある。

⇒ガイダンス施設及び体験学習施設などの建設は、原則として史跡外において行なうこととされている。

質問6：遺跡、遺構の調査で10年かかるときいているがなぜそんなにかかるのか。

⇒今後山麓の守護居館跡を史跡に追加し、保存管理計画の策定を行う。その後整備に必要な情報を得るために発掘調査の実地、整備計画の策定、基本設計、実地設計と進み、環境整備工事というスケジュールとなるため10年程を要する。

質問7：最終的にどのような施設になるのかイメージ図を示してほしい。

⇒今年度説明看板を制作する際に、イメージ図を掲げる計画である。



現在の小浜小学校跡地の様子（フェンス等で囲われ、立入禁止となっている）


野瀬主査：

福井県立大学 准教授 田原大輔先生が町並み保存地域の玄関に表示してある井戸マークに興味をもたれ、現在井戸水を使用している方に調査に伺いたいので協力してほしいとのことです。

2 協議会から報告

第32回地域づくり団体全国研修交流会三重大会の報告

小浜西組町並み協議会からの 報告とお知らせ

- 平成26年11月7日（金）～9日（日）
地域づくり団体全国研修交流会三重大会が行なわれ当協議会から2名が参加しました。
- 平成26年12月27日（土）
澤口妙子先生にお正月のお花の生け方を教えていただきました。参加者は8名でした。
- 平成27年2月8日（日）
小浜西部地区防災会主催の研修会を福祉センターにて午前9時30分から行ないます。
- 資料館では下林 ^{たけし} 雄さん（小浜市深谷）所有の富士山が描かれたテレホンカードや切手、引札、食器類を展示しています。2月20日（金）まで。（火曜日休館）